

これからの 機関リポジトリコミュニティ



静岡大学附属図書館 鈴木雅子

改めて

機関リポジトリとは

- ウェブ上で学内研究者の研究成果（学術論文等）を無料公開すること
- 誰か分からない読者のための所蔵資料の電子化サービスではなく、研究成果の可視性を高める、学内研究者へのサービス
- OAI-PMHという統一規格の仕組みを持つ（他システムへのデータの受け渡しが可能）
 - CiNii へ

オープンアクセスリポジトリ 推進協会（JPCOAR）

- Japan Consortium for Open Access Repository
- ジェイピーコアー

(余談) COAR



- Confederation of Open Access Repository

オープンアクセスリポジトリ 推進協会（JPCOAR）

- 平成28年7月27日に設立
 - 協会への参加意向を示した機関:376機関
 - 設立総会への出席機関:135機関、委任状提出機関:228機関

	大学数	回答数		「参加します」		「参加を検討中です」	
北海道	37	24	65%	20	54%	4	11%
東北	50	30	60%	29	58%	1	2%
東京	137	86	63%	79	58%	7	5%
関東甲信越	155	84	54%	71	46%	13	8%
東海北陸	102	53	52%	47	46%	6	6%
近畿	148	87	59%	68	46%	19	13%
中四国	68	32	47%	22	32%	10	15%
九州	78	48	62%	40	51%	8	10%
合計	775	444	58%	376	49%	68	9%

オープンアクセスリポジトリ 推進協会（JPCOAR）

- 当面は機関リポジトリ推進委員会が運営
- 秋頃に事務局から正式参加申請書の提出依頼
└ 11月

オープンアクセスリポジトリ 推進協会（JPCOAR）

- 平成29年度から会費を徴収

構成員数	基本会費（年額）
1～600人	20,000円
601～1,100人	40,000円
1,101人以上	60,000円

- JAIRO Cloud利用料は別
- JAIRO Cloud利用機関はJPCOARへの参加必須

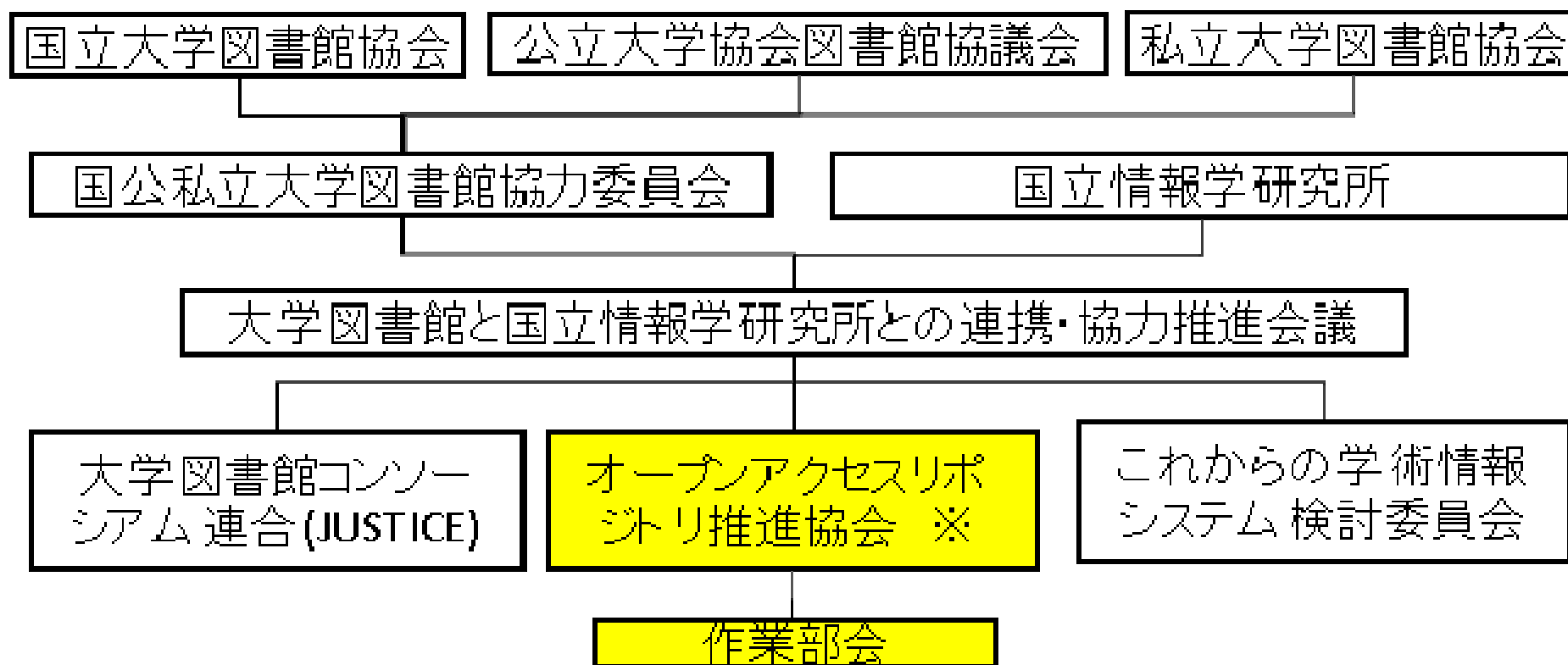
オープンアクセスリポジトリ 推進協会（JPCOAR）

＜当面の重点目標＞

- オープンサイエンスを含む学術情報流通の改善
- 機関リポジトリシステム基盤（JAIR Cloud）の共同運営と有効活用
- 機関リポジトリ公開コンテンツのさらなる充実
- 担当者の人材育成のための研修活動
- 国際的な取組みに対する積極的連携

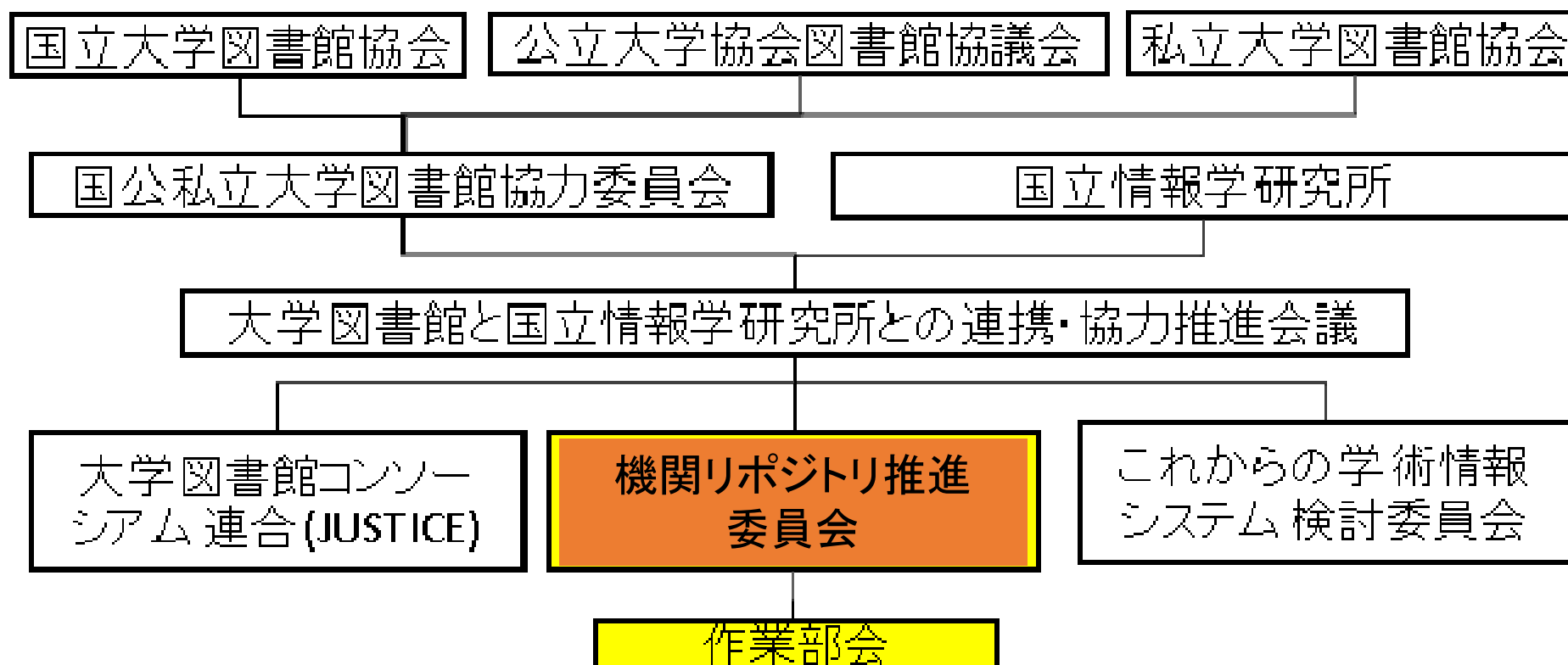
オープンアクセスリポジトリ 推進協会（JPCOAR）

- 組織図



機関リポジトリ推進委員会 (IRPC)

- 組織図

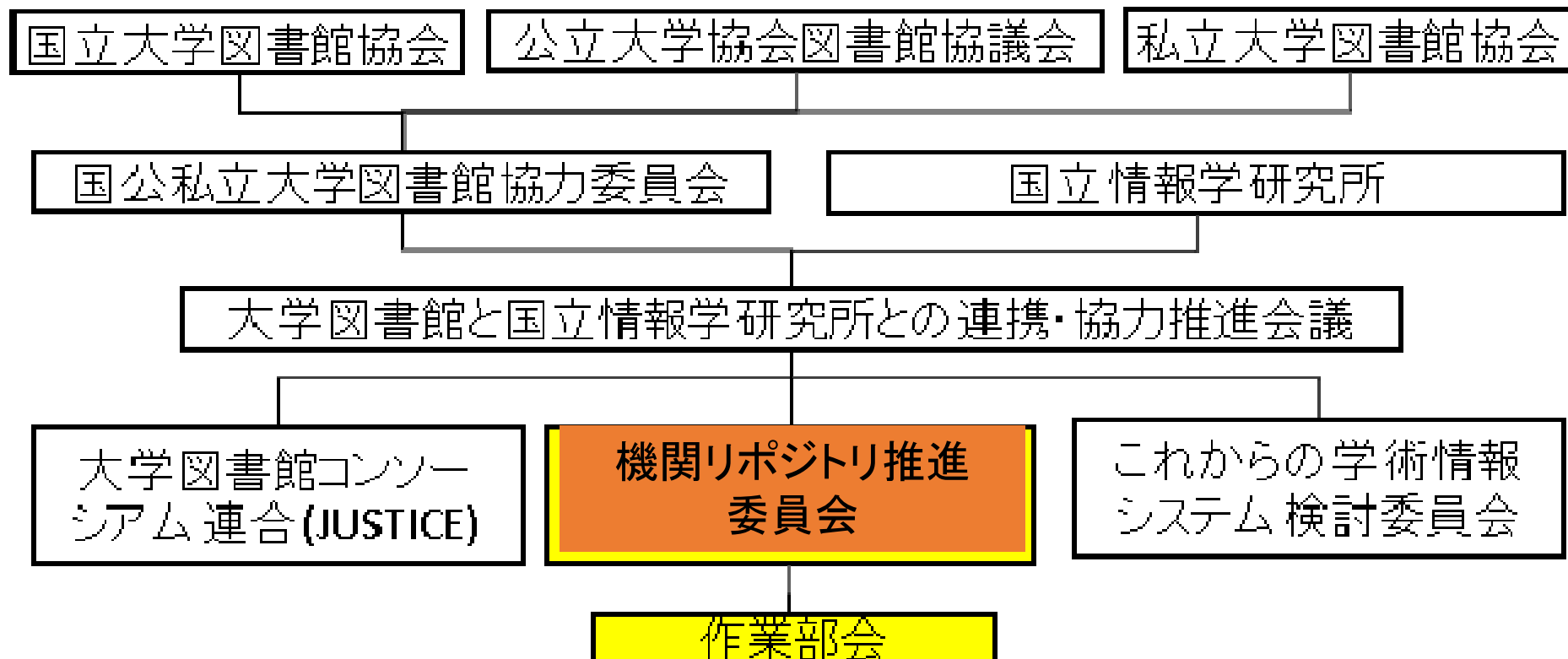


大学図書館とNIIとの協定書

- 大学共同利用機関法人～国立情報学研究所と国公立大学図書館協力委員会との間における連携・協力の推進に関する協定書
- 推進項目
 1. バックファイルを含む電子ジャーナル等の確保の恒久的なアクセス保証体制の整備
 2. **機関リポジトリを通じた大学の知の発信システムの構築**
 3. 電子情報資源を含む総合も黒くデータベースの強化
 4. 学術情報の確保と発信に関する人材の交流と育成
 5. 学術情報の確保と発信に関する国際連携の推進
 6. その他本目的を達成するために必要な事項

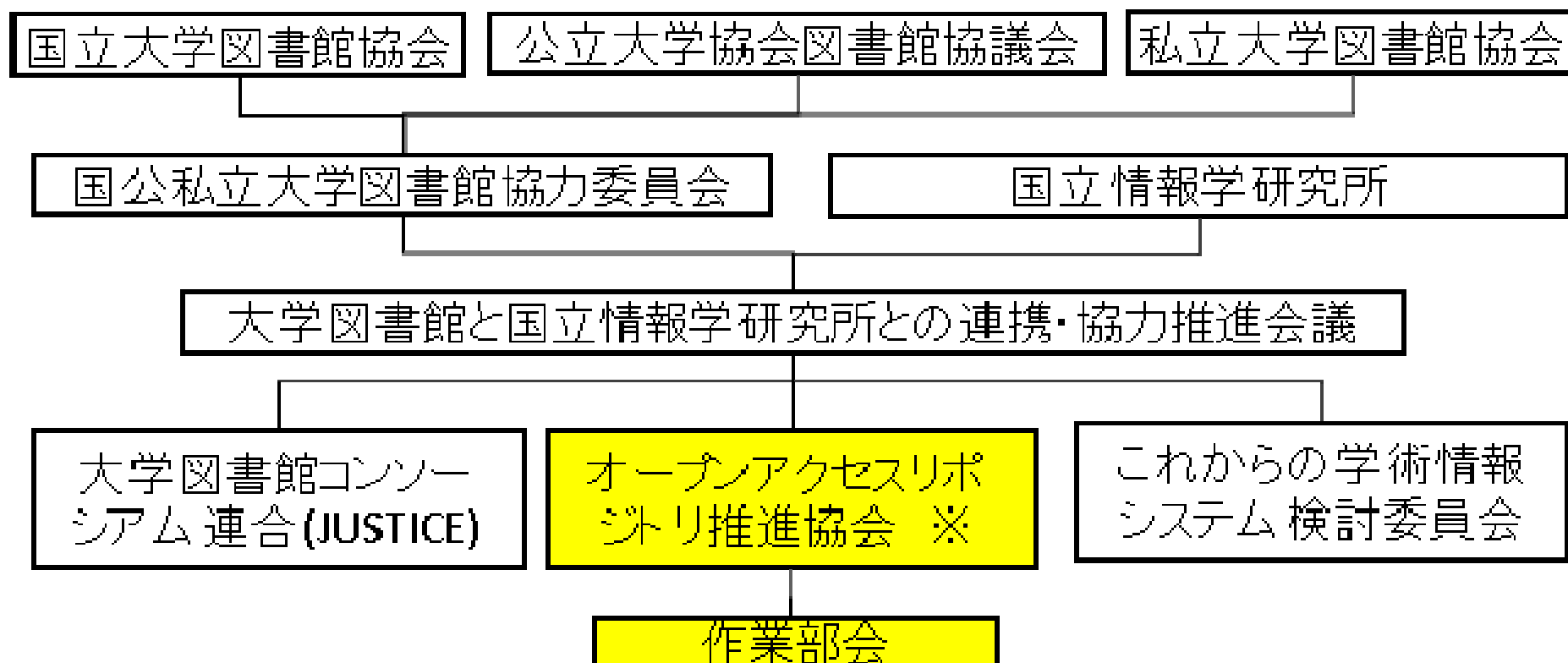
機関リポジトリ推進委員会 (IRPC)

- Institutional Repositories Promotion Committee



オープンアクセスリポジトリ 推進協会（JPCOAR）

- Japan Consortium for Open Access Repository



機関リポジトリ推進委員会 じゃダメなの？

JPCOAR設立の背景

- 世界的規模で、公的研究資金の助成機関による研究成果のオープンアクセスの義務化が具体化されつつある
- 学術研究成果のオープンアクセス化に寄与することは、単に図書館の活動に留まるものではなく、研究者や大学・研究機関にとっての必須条件となりつつある
- 学術研究成果の発信の普及・定着、人材育成、機関リポジトリシステムの機能改善等が大学図書館に求められている

JPCOAR設立の背景

＜設立趣意書より＞

- 機関リポジトリを中心とするオープンアクセスに関する既存の枠組み（コミュニティ）を再編・統合し、これまでのコミュニティへの未参加機関も積極的に迎え入れることにより、大学図書館界全体として活動する場となる機関リポジトリの新しいコミュニティである「オープンアクセスリポジトリ推進協会」を設立するものである。

→国内の大学・研究機関の力を結集

→機関リポジトリの課題解決に取り組む新コミュニティ

日本の機関リポジトリコミュニティ

- H16年 学術機関リポジトリ構築ソフトウェア
実装実験プロジェクト(NII-IRP)
 - ✓ 北大、千葉大、東大、東京学芸大、名大、九大
 - ✓ DSpace、EPrints ソフトウェアの日本語環境リポジトリの構築及び運用体制等の整備
- (H17年 千葉大学が機関リポジトリを開始)
- H18年～ デジタルリポジトリ連合(DRF)
- H24年～ JAIRO Cloudコミュニティ
- H25年～ 機関リポジトリ推進委員会(IRPC)

日本の機関リポジトリコミュニティ

- H16年 学術機関リポジトリ構築ソフトウェア
実装実験プロジェクト(NII-IRP)
 - ✓ 北大、千葉大、東大、東京学芸大、名大、九大
 - ✓ DSpace、EPrints ソフトウェアの日本語環境リポジトリの構築及び運用体制等の整備
- (H17年 千葉大学が機関リポジトリを開始)
- H18年～ デジタルリポジトリ連合(DRF) ①
- H24年～ JAIRO Cloudコミュニティ ②
- H25年～ 機関リポジトリ推進委員会(IRPC) ③

① デジタルリポジトリ連合：DRF



Digital Repository Federation

参加機関一覧

Top / 参加機関一覧

[List of pages | Search | Recent changes | Help]

DRFについて

- » DRFについて
- » 参加機関
- » メーリングリスト
- » 第3期活動課題
- » 月刊DRF
- » 国際連携
- » 研修
- » DRF in English

イベント情報

- » これからのイベント
- » 終了したイベント
- » 関連イベント
- » List of Events
- » OA Week 2015

リポジトリをつくる

- » リポジトリをつくる
- » 各機関運用指針一覧
- » リポジトリシステムを試す
- » 事例報告集

リポジトリを育てる

- » リポジトリを育てる
- » 実務のための関連資料

- 第一期参加機関一覧(平成17年度～19年度)
- 第二期参加機関一覧(平成20年度～21年度)

参加機関一覧(全157機関) ↑

デジタルリポジトリ連合は、本活動の趣旨に賛同する下記機関によってすすめられています。
デジタルリポジトリ連合の企画・運営に関するご意見等は事務担当(北海道大学附属図書館学術システム課システム管理担当、js at lib.hokudai.ac.jp)へお願いします。

- 情報・システム研究機構 国立極地研究所が加わりました！ 現在157機関です。(平成27年11月24日)
- 札幌市立大学が加わりました！ 現在156機関です。(平成26年6月24日)

- 旭川医科大学 AMCoR(<http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/modules/xoonips/>) OAI-PMH
- 小樽商科大学 Barrel(<http://barrel.i.hokudai.ac.jp/>) OAI-PMH
- 帯広畜産大学 OAK(<http://ir.obihiro.ac.jp/>) OAI-PMH
- 北見工業大学 KIT-R(<http://kitir.lib.kitami-it.ac.jp/>) OAI-PMH
- 札幌医科大学 ikor(<http://ir.cc.sapmed.ac.jp/dspace/>) OAI-PMH
- 札幌市立大学
- はこだて未来大学 公立はこだて未来大学学術成果アーカイブ(<https://lib-repos.fun.ac.jp/dspace/>)
- 北海道大学 HUSCAP(<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/>) OAI-PMH
- 北海道医療大学 北海道医療大学学術リポジトリ(<https://hsuh.repo.nii.ac.jp/>)
- 北海道教育大学 北海道教育大学学術リポジトリ(<http://s-ir.sap.hokkyodai.ac.jp/>)
- 北海道薬科大学 北海道薬科大学機関リポジトリ(<http://repository.hokuyakudai.ac.jp/>)
- 富山大学 富山大学学術リポジトリ(<https://muroran.repo.nii.ac.jp/>) OAI-PMH

①デジタルリポジトリ連合： DRF

- 国立情報学研究所(NII)のCSI事業から生まれた
 - ✓第1期：H17年～H19年
 - ✓第2期：H20年～H21年
 - ✓第3期：H22年～H24年
- 参加館の連携により、様々な活動を展開
 - ✓メーリングリスト、ウェブサイト(wiki)、集合イベント開催、情報誌『月刊DRF』での情報共有、意見交換
 - ✓初任者研修、中堅者研修、ワークショップの実施
 - ✓プロジェクト、勉強会、オンライン勉強会の実施
 - ✓国際発信、国際連携(COAR等への参画)

CSIによるプロジェクト

- コンテンツ増進のための調査・研究
 - ✓ SCPJ、AIRway、IRcuresILL、rliaison等
- 機関リポジトリの技術基盤の整備
 - ✓ ROAT、研究者情報システムとの連携等
- 情報共有
 - ✓ 地域コミュニティの活性化（共同リポジトリ）、人材養成等
- 国際連携の推進
 - ✓ COARの活動への参画、日本での国際会議の開催
 - ✓ CAIRSS、UKCoRR、RSP、COARとの情報交換

①デジタルリポジトリ連合：DRF (再)

- 国立情報学研究所(NII)のCSI事業が終了し、財源が「寄附」のみとなったため、活動が縮小
- 参加館の連携により様々な活動を展開
 - ~~メーリングリスト、ウェブサイト(wiki)、集合イベント開催、~~
情報誌『月刊DRF』での情報共有、意見交換
 - ~~初任者研修、中堅者研修、ワークショップの実施~~
 - ~~プロジェクト、勉強会、~~オンライン勉強会の実施
 - ~~国際発信、~~国際連携(COAR等への参画)

② JAIRO Cloud コミュニティ

[新規登録](#) | [ログイン](#)



Japanese
Institutional
Repositories
Online
Cloud

[検索](#)

[English](#)

[トップページ](#) [サービスについて](#) [ニュース](#) [ドキュメント](#) [コミュニティ](#) [リンク](#) [よくあるご質問](#)

国立情報学研究所では、ソフトウェアWEKOをベースに
機関リポジトリのシステム環境を構築・提供しています。

[トップページ](#)

What's New 新着情報

最新 [RSS](#)

[2016-08-29 サーバーのネットワーク機器メンテ...](#)

2016-08-29 サーバーのネットワーク機器メンテナンスを以下のとおり実施します。メンテナンス作業中は、対象のサイトにログイン頂くことができません。(閲覧は可能です) JAIRO Cloud利用機関の皆様には大変ご迷惑をおかけし...

[SWORD Client for WEKOのリリース情...](#)

SWORD Client for WEKOのリリース情報を記載いたします。SCfW ver2.3.2.0 SCfW ver2.3.1.0 SCfW ver2.3.0.0 SCfW ver2.2.1.0...

[WEKOのアップデート情報をお知らせいたします。...](#)

WEKOのアップデート情報をお知らせいたします。WEKO ver.2.2.3 WEKO ver.2.2.0 WEKO ver.2.1.0

サービス概要

JAIRO Cloudは、平成24年度より運用開始されたクラウド型の機関リポジトリ環境提供サービスです。核となる機関リポジトリソフトウェアにNII開発のWEKOを採用しています。利用機関はシステム・サーバー管理から解放され、コンテンツ登録に集中できます。利用申請は随時受付中です。

JAIRO Cloud導入機関数

公開中/公開準備中/申請中の機関を合わせ

408機関

② JAIRO Cloud コミュニティ

- JAIRO Cloud (ジャイロクラウド) は、NIIが開発した機関リポジトリソフトウェアWEKO (ウェコ) のシステム環境をクラウド上で提供する共用リポジトリサービス
 - ✓ H24年度より、新規構築機関を対象に開始
 - ✓ H26年度より、移行機関にも対象を拡大
- JAIRO Cloudを利用する機関専用のウェブサイトの情報共有、意見交換
<http://community.repo.nii.ac.jp/>

③機関リポジトリ推進委員会



Institutional Repositories Promotion Committee
機関リポジトリ推進委員会

Top

About

Publication

Activities

Events

Contact

言語選択
言語の選択:
日本語

Top

検索

お知らせ

関連リンク



オープンアクセスリポジトリ推進協会
JPCOAR: [Japan Consortium for Open Access Repository](https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/)

 国立大学図書館協会
Japan Association of National University Libraries

 公立大学協会図書館協議会
Japan Association of Public University Libraries

 私立大学図書館協会
Japan Association of Private University Libraries

このウェブページでは、機関リポジトリ推進委員会の活動や成果等について掲載しています。

お知らせ

平成28年8月10日
[CRIS2016 & Open Repositories 2016に参加しました](#) (2016年6月8日-16日)
[Research Data Alliance\(研究データ同盟\)の第7回総会に参加しました](#) (2016年3月1日-3日)
[欧州のOpenAIREの取組みについて調査しました](#) (2016年2月20日-27日)
[デジタルキュレーションに関する国際会議IDCCIに参加しました](#) (2016年2月22日-25日)

平成28年7月29日
[国内学協会のオープンサイエンス対応状況調査\(報告\)](#)を公開しました。

平成28年7月27日
オープンアクセスリポジトリ推進協会のウェブサイトができました
オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)の公式ウェブサイトを立ち上げました。これから随時、情
す。
JPCOAR URL: <https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/>

平成28年7月27日
[機関リポジトリにおける雑誌論文の登録業務に関する調査\(報告\)](#)を公開しました。
[OAポリシーの策定支援ツールの開発:平成27年度報告書](#)を公開しました。

平成28年5月17日
[「オープンアクセスリポジトリ推進協会」設立総会を開催します](#)

③機関リポジトリ推進委員会

- ・ 富田 健市 北海道大学附属図書館 事務部長(委員長)
- ・ 行木 孝夫 北海道大学大学院理学研究院数学部門 准教授
- ・ 江川 和子 筑波大学 学術情報部長
- ・ 尾城 孝一 東京大学附属図書館 事務部長
- ・ 高橋 菜奈子 千葉大学附属図書館学術コンテンツ課長
- ・ 森 一郎 新潟大学学術情報部学術情報管理課 課長
- ・ 島 文子 京都大学附属図書館 図書館企画課長
- ・ 池田 大輔 九州大学大学院システム情報科学研究院 准教授
- ・ 山本 和雄 琉球大学附属図書館 事務部長
- ・ 大野 利彦 神戸市外国語大学 学術情報センターグループ長
- ・ 菊池 亮一 明治大学学術・社会連携部・部長
- ・ 佐藤 翔 同志社大学免許資格課程センター 助教
- ・ 安本 裕和 関西学院大学図書館 事務部長
- ・ 山地 一禎 NII 准教授／学術リポジトリ推進室長
- ・ 細川 聖二 NII学術基盤推進部学術コンテンツ課課長
- ・ 吉田 幸苗 NII学術コンテンツ課副課長

③機関リポジトリ推進委員会

- 委員会の下に3WG・4TaskForce、協力員27名
 - 研修WG: 機関リポジトリ講習会
 - JAIRO Cloud運用WG: コミュニティ活性化等
 - 広報WG: 図書館総合展等、(含む国際担当)
 - メタデータ検討TF: junii3対応、JaLCガイドライン等
 - 研究データTF: RDMトレーニングツール等
 - 論文OATF: OA方針策定支援等
 - 指標・評価・メトリックスTF: ログ分析等
 - COAR Asia: 立上げ等
- NIIが事務局

JPCOAR設立の背景（再掲）

＜設立趣意書より＞

- 機関リポジトリを中心とするオープンアクセスに関する既存の枠組み（コミュニティ）を再編・統合し、これまでのコミュニティへの未参加機関も積極的に迎え入れることにより、大学図書館界全体として活動する場となる機関リポジトリの新しいコミュニティである「オープンアクセスリポジトリ推進協会」を設立するものである。

→国内の大学・研究機関の力を結集

→機関リポジトリの課題解決に取り組む新コミュニティ

オープンアクセスリポジトリ 推進協会（JPCOAR）

- これまでの各コミュニティでの活動や成果、蓄積された経験やノウハウを結集
- 今後の活動に活用

オープンアクセスリポジトリ 推進協会（JPCOAR）

＜具体的な活動＞ 1/2

- JAIRO Cloud の共同運営
 - JAIRO Cloudは、サーバ構築や管理・システム仕様変更等を一括対応することで、機関にとって安価に運用できるクラウドシステムである。平成29年度から利用機関が運営経費を一部負担する形で共同運営することによって、持続的、安定的な運用を図るとともに、利用機関の要望をシステム改善に反映させることも可能となる。**共同運営を適切に行うため、利用機関は当協会への参加が必須となる。**

オープンアクセスリポジトリ 推進協会（JPCOAR）

＜具体的な活動＞ 2/2

- 人材育成
 - 担当者の習熟段階や担当主題に応じた研修を実施する。
 - 集合研修への参加が難しい機関等に配慮し、オンライン環境で自己学習できる環境を整備する。
- その他
 - 機関リポジトリの機能開発を行う。
 - 機関リポジトリ、オープンアクセスに関する情報交換の場を創設する。
 - 機関リポジトリ、オープンアクセス普及のための広報・啓発活動を展開する。

JAIRO Cloud 参加館

- 平成28年8月26日現在、公開中/公開準備中/申請中を合わせ、
- 400リポジトリ(共同リポジトリは1と数える)
 - うち、**公開中296**
 - 内訳1: 新規264、移行32
 - 内訳2: 国立14、公立34、私立210、短大17、その他20、共同リポジトリ1
 - 移行のうち、国立10、公立3、私立13、短大2、その他4
- 公開中のリポジトリ一覧

IRP報告書 序より (H17.3)

- 電子化された学術情報資源は、大学等の学術機関が、学術機関リポジトリを構築し、その発生源において責任を持ってアーカイブし、必要十分なメタデータとともに世界に、そしてまた後世に伝えていくことがますます重要になってきています。
- このような意味で学術機関リポジトリはこれからの学術コミュニケーションの一角を担うものです。他方、学術機関リポジトリの構築は、従来の図書館活動の枠を超えて、大学などの学術機関内での組織作りという新たな側面を含んでいます。

<http://www.nii.ac.jp/metadata/irp/NII-IRPreport.pdf>

オープンアクセスリポジトリ 推進協会（JPCOAR）

- JAIRO Cloud 利用機関増加中
- 協会参加機関みんなで積極的に活動し、みんなで課題に取り組んでいきましょう！